

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①冒険の杜整備事業がつくる厚真っ子の未来
- ②情報モラル教室/厚真ピンクシャツプロジェクト
- ③上厚真小学校プール落成式/さわやか町民登山会/厚真に初の移住者の痕跡
- ④定例教育委員会/絵本の読み聞かせ講座/サーフィン授業/英会話教室
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

—子どもの育ちを中心とした地域づくりへ—

「冒険の杜整備事業」がつくる厚真っ子の未来

◇ 冒険の杜整備事業とは？

子どもの“遊び”は、人間として成長していくために欠かすことのできない重要な経験です。特に幼少期の遊びの経験は、その後の育ちや大人になってからの生活に大きな影響を与えていると言われています。子どもたちは学校での学習だけでなく、日常生活での“遊び”を通して、体力、協調性、社会性、自主性、忍耐力、危険察知力など様々な能力を育てています。子どもたちが毎日長い時間を過ごす放課後（児童クラブや放課後子ども教室等）でも“遊びの環境”について、様々な角度からみんな考え、子どもの成長により良いものへと高めていこうとするのが「冒険の杜整備事業」です。

教育委員会では、平成30年度からこの取組を進めてきました。放課後児童クラブの支援員や放課後子ども教室のスタッフと共に「子どもが育つ環境づくりのためにできることは何か？」外部講師を招いてたくさんの研修を重ね、議論してきました。

昨年度から保護者や地域の方々と、年に数回のワークショップを実施しており、ウッドデッキや室内遊具等の製作を進めています。今年度は、馬と一緒に森に入って林業を行う西埜馬搬の西埜さんや地域の方々の協力を得ながら、厚真放課後子どもセンター裏の森で子どもたちと馬の触れ合いの時間を作ったり、植物で遊んだりするなど厚真放課後児童クラブでの新しい取組が始まっています。

そして、上厚真放課後児童クラブでも、宮の森こども園と連携して、子どもたちが安全・安心に遊べる環境整備を進める準備が進んでいます。これからも厚真町が「子どもの育ちを中心とした魅力ある地域」となるよう、この取組を進めていきます。



遊びは最高の学びだ！



【問い合わせ】社会教育グループ ☎27-2495

SNSトラブルから子どもたちを守るために ～厚真中学校で情報モラル教室が行われました～

子どもたちが、情報社会で適切な行動がとれるよう基本的な考え方や態度を養う情報モラル教室が、8月3日、町内の「Web工房SAKURA」代表の桜井さんを講師に、厚真中学校で行われました。

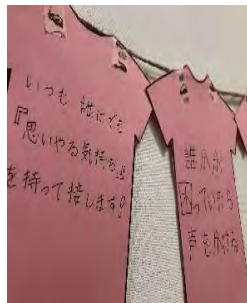
教室では、ネットでの誹謗中傷の実態やフェイクニュースの見分け方、ネットトラブルの回避、ネット・ゲーム依存の予防など、具体的な事例をもとにした分かりやすい説明に、子どもたちは真剣に耳を傾けていました。



いじめを許さない！ 厚真中学校生徒会

「厚真ピンクシャツプロジェクト」

厚真中学校生徒会では、「厚真ピンクシャツプロジェクト～厚真からいじめをシャツアウト！～」という取組を7月31日（金）から8月31日（月）まで行っています。ピンクシャツデーにはピンクシャツやピンクのものを身に着けますが、ピンクのTシャツの形をした型紙に「いじめをなくすためにできること」「いじめを見つけたときにできること」を書き入れる独自の取組を行い、厚真町役場をはじめ、町内7か所に掲示しています。皆さんも、いじめについてご家庭で考えるきっかけにしてはいかがでしょうか。



厚真町青少年センターに届けられた思いの詰まったメッセージとチラシ

ピンクシャツデーとは、2007年にカナダで起こった『いじめ反対運動』です。世界的共通の問題となっているいじめ…そんないじめを“許さない”という意思表示をしようというのがピンクシャツデーです。

この運動は、世界数十か国に広まり、子どもから大人まで、多くの人が参加する運動となっています。



これは昨年、神奈川で行われたピンクシャツデーの広告です。ピンクシャツデーは通常2月に行われています。

おわびと訂正

生涯学習だより7月号（令和2年7月22日発行）2ページの「スポーツセンターに木製ブロック寄贈」の記事に誤りがありました。正しくは右記のとおりです。訂正してお詫び申し上げます。

（誤）公益社団法人北海道杜の緑の会

（正）公益社団法人北海道森と緑の会

上厚真小学校 プール落成式

老朽化に伴って建設していた上厚真小学校のプールが完成し、7月3日、落成式が行われました。

プールは25メートルの水路5コースを備え、初心者用浅底プール、男女更衣室のほか、温水シャワーも完備しています。

落成式には、来賓と6年生16人が出席。町長、教育長、2人の代表児童がプールサイドでテープカットし、完成を喜びました。宮坂町長は、「安心して水泳に親しみ、体力を養ってください」と述べ、児童たちは「早く泳ぎたい」と気持ちを高ぶらせていました。同校では、7月16日からプール授業が始まっています。



さわやか町民登山会開催

7月5日、あつま山の会が主管する第32回さわやか町民登山会が様似町のアポイ岳で開催されました。

晴天の中、22人が参加し、美しい景色と心地よい運動を楽しみました。

また、体力のある参加者は、頂上までの登山にチャレンジしました。

自然に親しみながらの登山は、体力づくりには、うってつけの機会です。

来年度は、ぜひ参加して、さわやかな汗を流してみませんか。



厚真に初の移住者の痕跡 ~1万4500年前の上幌内モイ遺跡~

厚真町に人が移り住んで来たのは旧石器時代の今から約1万4500年前の頃と考えられており、その痕跡は厚真川上流域の厚幌ダム建設で発掘された上幌内モイ遺跡から発見されています。

この時代は、氷河期と呼ばれる寒い時期で、厚真町は現在の稚内からサハリン中部にかけての気温と同じでした。この当時の人々はシベリアから陸続きだったサハリンを経由してマンモスや野牛を追って北海道に渡って来ました。

平成16年と平成17年の発掘調査では、焼き火跡が1カ所、「細石刃」と呼ばれる幅1cm以下の細長く薄いカミソリの刃のような石器やナイフなどの黒曜石でできたかけら1412点が見つかっています。

その後の詳しい研究から上幌内モイ遺跡は厚真川の川辺に営まれた小規模なキャンプ跡地と考えられ、アメリカやロシアで開催されている学会でも発表されている有名な遺跡でもあります。



上：旧石器時代の動物

『北海道埋蔵文化財センター15周年記念紙』より引用

右上：旧石器時代の出土品

右下：発掘調査の様子



細石刃

ナイフ

細石刃核
細石刃を剥ぎ取った母材



7月定例教育委員会

7月30日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項◆

第1回学力向上推進委員会について/厚真町いじめ問題対策連絡協議会について /総務文教常任委員会所管事務調査について/厚真高校魅力化検討担当者打ち合わせ会議について/厚真町社会教育委員の会議について（ほか17件）

◆議案◆特になし

◆協議事項◆

厚真町教育振興基本計画（後期）について（1件）

◆その他◆特になし

★問合せ★

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

北海道初！サーフィン授業実施

8月3日上厚真小学校の4年生(21人)が、浜厚真海岸でサーフィンを体験しました。

この取組は同校が行うふるさと教育の一環でサーフィンが学校授業として行われたのは北海道で初めてです。厚真町ならではのスポーツ文化や地域の特色を学ぶことがねらいで、地域学校協働本部(あつまるねっ)の制度を活用し、地元のサーフィン愛好家が講師となりサーフィンを指導しました。

児童からは、「ボードの上に立った時、顔に風を感じて気持ち良かった。」「波に乗る前はすごくドキドキわくわくでした。」「上手に乗れた時の達成感がすごかった」などの感想が聞かれ、笑顔で体験を振り返っていました。

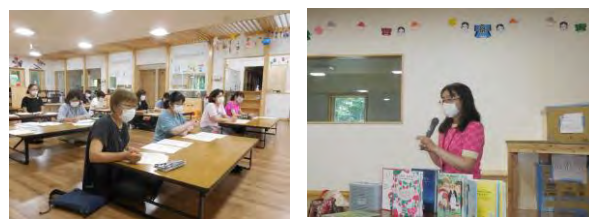


絵本の読み聞かせ講座開催

8月4日、厚真町放課後児童クラブ支援員と読み聞かせ団体を対象に、厚真放課後子どもセンターで絵本の読み聞かせ講座が開催されました。札幌市在住の絵本専門士笹山愉香さんを講師に、絵本の読み聞かせの基本やテクニックを学びました。参加者は笹山専門士のアドバイスを参考に自ら選んだ本を参加者同士で読み聞かせの体験をしながら、「子どもたちが絵本の世界に入り込む」ことを実感していました。

今回学んだことは、読み聞かせ活動や放課後児童クラブの支援の場で生かしていきます。

なお、上厚真地区でも、9月15日に講座を開催しますので、興味のある方は社会教育グループまでお問い合わせください。



英会話教室開講

イギリス出身の町ALT(外国人英語指導助手)ジェイコブ先生による9月～12月期の英会話教室を開講します。初心者クラス・経験者クラスの2クラス構成です。途中からの参加もできますので、参加希望の方は事前に申し込みをお願いします。

なお、新型コロナウイルス感染防止のためマスクの着用をお願いいたします。

◆日程 9月9日～12月9日まで毎週水曜日

◆時間 <初心者クラス>17:30～18:30
<経験者クラス>18:30～19:30

◆場所 青少年センター図書室

◆対象 中学生以上の町民の方

<初心者クラス>

あいさつや日常生活で使う単語の習得、ミニゲームなどを楽しみたい方

<経験者クラス>

基礎以上の英会話、英語でのディベート(議論)などを楽しみたい方

◆申込み 社会教育グループ ☎27-2495

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

TEL 27-2321 (土日)

蔵書点検のおしらせ

図書室では所蔵管理のため、年に1回「蔵書点検」を行っています。所蔵している本のバーコードをすべて読み取り、正しく登録されているか、正しい所蔵場所にあるかなどのチェックを行います。全ての本を手にとって確認できるため、傷みが激しい、利用がない、内容が古くなって現在の状況に合っていないなどの本を整理する目的もあります。

今年も下記の日程で蔵書点検を行いますので、ご協力をお願いいたします。

蔵書点検期間:9月7日(月)~11日(金)

蔵書点検期間中、通常通り図書室は利用できます。

※借りている本の中に、返却期限を過ぎている本がある方は至急返却をお願いいたします。青少年センター、厚南会館それぞれ入口の前に返却用ポストを設置していますのでご利用ください。

厚真中央小2年生が図書室を見学

7月29日、厚真中央小学校の2年生25人が図書室を見学に来ました。

図書室がある青少年センター全体を紹介し、図書室の仕事について話をしました。見学の最後にクイズ形式で、図書室の所蔵冊数、一日の利用者数などを考えて答えてもらいました。ちなみに、所蔵冊数は約4万6千冊、一日の来館利用者数平均は15人です。

将来、どんな仕事をしようかと考えるとき、図書館も面白そうだなと思い出してもらえると嬉しいです。

■9月の休館日

21日【月】 敬老の日
22日【火】 秋分の日

引き続き



感染症拡大防止に

ご協力お願いします

- ・マスクの着用
- ・手の消毒
- ・ソーシャルディスタンス

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時 (月・水・金・土・日)
午前9時から午後7時 (火・木)

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時 (月~日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

9月のおはなしのびっくは 24日(木)10時30分開始
場所は青少年センター図書室絵本コーナーです。

☆放課後子ども教室☆

年度当初の予定より、2週間遅れての学期末に合わせて、子ども教室の活動も7月いっぱいまでの実施となった1学期です。子どもたちは例年より短い夏休みとなりますが、大きなケガや事故なく過ごしてほしいと思います。

7月の子ども教室は馬そり体験や、町内の森林で切り出された間伐材を使ったキーホルダーづくり、夏休み前恒例の水鉄砲合戦などを行いました。馬そり体験では、西埜馬搬からポニーの「ハスポン」が登場。馬そりだけではなく、乗馬も体験させてもらいました。今回は上厚真小学校低学年での実施でしたが、今後、他の活動日でも体験できる機会をつくりたいと思います。間伐材のキーホルダーづくりでは、断面の年輪を数えて、何年物の木だったのかを確認する子の姿もあり、自然の素材を使う面白さを感じました。今回はあまり装飾はせず、紙やすりで磨いたままの質感を生かして、シンプルに仕上げの子が多くいたように思います。7月最終週のプログラムは、水鉄砲合戦。初日こそ雨模様でしたが、他の活動日は気温・湿度ともに高く、絶好の水遊び日和となりました。学年が上がるにつれて、水鉄砲の枠を超え、バケツで水かけ合戦が始まったり、ブルーシートを使ってウォーターライダーをしたり、遊び方もダイナミックに。ぬれることや汚れることを気にせず、全力で遊ぶ姿はとも清々しかったです。にぎやかな笑い声が溢れるプログラムとなりました。

夏休みといえば、子ども教室では毎年、特別教室を実施しています。しかし、今年は夏休みが短いということもあり、7月18日から8月2日までの土日や祝日を活用し、夏の特別教室として4つのプログラムを実施しました。各プログラムとも20人定員のところ、申し込みが40人を超えたものもありました。やむなく参加者抽選としましたが、申し込みをくれた全員が、必ず1プログラムは参加できるよう調整し、89人の子どもたちと楽しい時間を過ごすことが出来ました。

7月18日のハスカップ狩り体験に始まり、7月23日の海の日には浜厚真海岸での海遊び、翌24日には厚真町環境保全林で基地づくりなどの森遊び、そして、8月2日には隣町であるむかわ町穂別で川遊びと、自然環境や“厚真らしさ”に触れるプログラムを企画。幸い、催行の判断に迷うような天気にもあらず、各プログラムとも子どもたちに体感してもらいたいと思い描いていたことは、伝えられたと感じています。厚真の資源を使って楽しく遊ぶ。その積み重ねが、『自分が育ったまちのことを、自分の体験をもとに、自分の言葉で語れる人材』を育てることにつながると私たちは信じています。今後も学校や地域とも連携し、遊んで学べる現場をコツコツと展開していきます。

